

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号(53) 学校名 豊田市立飯野小学校

1 テーマ

生き生きと活動し ともにかわり 伝え合う飯野っ子

— 体験活動を通して、人(仲間・地域の方)とのかかわりあいを深めよう —

2 ねらい

- ・学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ子を育成する
- ・基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健全な子を育成する
- ・互いのよさを認め合い、周囲と助け合って生きようとする態度を育成する
- ・子どもの成長が見える学校づくり、共通理解のもと機能する体制づくりを推進する
- ・共感的に学び合う集団づくり、わかる授業の創造に努める
- ・子どもとともにあり、ともに活動し、子どものよき手本となる教師集団づくりに努める
- ・ねらいを明確にした活動計画をもとに、めざす子どもの育成に最後まで努力する教師集団づくりに努める

3 活動内容

【花や野菜の栽培活動】

1年：花や野菜を育てる。

2年：夏野菜・サツマイモを育てる。

3年：花を育てる。

4年：ゴーヤを育てる。

5年：米作りについて調べ、地域の方とともに米を育て、収穫し、大地の恵みに感謝する。

6年：ジャガイモの栽培活動を通して、人とのかわりあいを深める。

ひまわり(特別支援学級)：栽培した野菜で調理実習やお楽しみ会をする。

委員会活動：FBCに向けての花壇づくり。

4 成果と課題

(1) 成果

校内整備員の配置により、細かいところまで丁寧に整備することができた。校内の樹木や草などを常に適切な状態に保つことができた。

各学年の栽培活動では、地域の方々にアドバイスをしていただき、収穫以外にも子どもたちは多くのことを学ぶことができた。

花壇づくりの活動では、今年度も、ボランティアの方によって種まき・移植等を行った。環境委員会の児童らもその作業に加わり、短い時間ではあったが種まきや移植等を手伝った。また、パンジーの鉢植えを作り、お世話になったボランティアの方々に送ったり、卒業式に式場に飾ったりする予定である。それでもあまった苗は、家庭や地域で育ててもらっている。

保護者アンケートの値も「3.40」となり、昨年度までを上回った。

(2) 課題

育てた作物を使った調理実習では、アレルギーをもつ児童に配慮するなど、細心の注意を図って行うため、通常の授業より負担は大きい。それだけの成果がある活動だと感じている。花壇づくりについては、1回の作業に時間がかかるため、授業との兼ね合いもあり、子どもたちをどこまで関わらせるのが難しいと感じた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・今年度はホームページの「特色ある教育活動」の欄で14回紹介してきた。
- ・花壇づくりの様子をホームページに掲載するとともに、地域コーディネーターの方が発行する「ボランティアだより」の紙面で、花壇づくりの進捗状況ならびに作業の様子を紹介した。
- ・余った苗を保護者や地域に配る活動を通して、学校の取り組みを知らせる機会になった。